聖隷クリストファー大学
国際教育学部

鈴木光男

2025年7月5日聖隷クリストファー大学公開講座

現代のこどもを取り巻く環境
～こどもが育つ街づくり～

資料のダウンロードが可能です。

本日のメニュー

1　自己紹介

2　日本のこども“今むかし”

3　現代のこどもを取り巻く環境

4　こどもが育つ街づくり

5　ワイガヤ:ブレイクアウトセッション

1

自己紹介

鈴木光男

1959年静岡県磐田市
磐田西小・磐田一中
金沢大学卒業・兵庫
磐田市近隣小学校教
兵庫教育大学附属小
東京未来大学7年
聖隷クリストファー大

主な著書・研究
「表現する教室のつく
「美術教育概論（新訂
「教師が生きる総合的

ゴミ拾い散歩は楽しいよ！

PIRIKA

自己紹介タイム

①今日呼ばれたい名前

②今、はまっていること

③今日、参加した理由

2

日本のこども“今むかし”

みなさんの「こども時代」は？

“むかし”

表文化

裏文化

AKB

サンマ（時間・空間・仲間）

隣町の子供からの“果たし状”が届く

神社に行けば、いつも誰かがいた

近所の裏道も遊び場

秘密基地は3軒保有

ザリガニやカエル、ドジョウなども友達

「裏文化」で育まれていたものは何？

1. 自主性と創造性

◆遊びの創出とルール作り：大人が用意した遊びではなく、子供たち自身で遊びを見つけ出し、時には道具を工夫したり、ルールを作り上げたりしていた。これは、既成概念にとらわれずに物事を考え、新しいものを生み出す「自主性」と「創造性」を養った。

◆問題解決能力：遊びの中で生じる揉め事やトラブルを、子供たち自身で解決する経験を積んだ。大人の介入なしに話し合い、妥協点を見つける過程で、実践的な問題解決能力が育まれた。

2. 社会性とコミュニケーション能力

◆多様な人間関係の構築：さまざまな子供たちと交流する機会が多くあった。年上の子から遊びを教わったり、年下の子の面倒を見たりする中で、多様な人間関係を築く能力や、異なる立場の人とのコミュニケーション能力が向上した。

◆非言語的コミュニケーション：遊びの中では、言葉だけでなく、表情やしぐさ、雰囲気など、非言語的な情報から相手の意図を読み取る力が磨かれた。

◆リーダーシップとフォロワーシップ：遊びの場面では、その場の状況に応じて自然とリーダーが生まれ、またそれに従うフォロワーもいた。状況を判断し行動を決定するリーダーシップ、そして集団の中で自分の役割を理解し協力するフォロワーシップが育まれた。

3. 身体能力と危機管理能力

◆**身体感覚の発達**：道や公園、空き地などでの遊びは、自然と身体能力を高めた。木登りや鬼ごっこ、ドッジボールなどはバランス感覚、俊敏性、持久力などを養った。

◆**危険の察知と回避**：自分で危険を察知し、それを回避する能力を育んだ。どこまでが安全で、どこからが危険なのかを肌で感じ、自己判断する力が培われた。

4. 感情のコントロールとストレス解消

◆**自由な感情表現の場**：学校や家庭では抑圧されがちな感情も、裏文化の遊びの中では比較的自由に表現できる場だった。怒りや悔しさ、喜びなどを存分に体験し、それらをコントロールする術を学んでいった。

◆**精神的な解放**：勉強や習い事といった「表」の活動でたまったストレスを、裏の遊びで発散することで、精神的なバランスを保っていた。

まとめ

1960年代の子供たちの「裏文化」は、単なる暇つぶしではなく、子供たちが社会に出る上で不可欠な、**【非認知能力＊】**を育む重要な場であったと言える。

自主性、創造性、コミュニケーション能力、問題解決能力、身体能力、危機管理能力、そして感情のコントロール能力といった多岐にわたる力が、大人が介入しない自由な遊びの中で自然と培われた。

これらの能力が、結果として学校や塾での学び、ひいては**社会生活を営む上での基礎体力となり、「表文化」を支える土台となっていた。**

＊アメリカ経済学者ジェームズ・J・ヘックマン教授が重要性を経済学の観点から提唱

国立青少年教育振興機構「子どもの自然体験活動に関する調査研究」（2016年）

主な調査結果と内容のポイント

◆学力・収入・結婚率との関連：自然体験が豊富な子どもほど、最終学歴が高く、現在の年収が高かったり、結婚している割合が高い傾向がみられる。

◆自己肯定感と自立的行動習慣の向上：自然体験が多い子どもほど、自己肯定感が高く、自立的行動習慣が身についている傾向がある。

◆「生きる力」の育成：自然体験活動は、子どもたちの「生きる力」としての意欲・関心、規範意識、人間関係能力、文化的作法・教養などの資質・能力の育成に効果がある。

◆体験活動の重要性：家庭や地域の教育力低下、基本的な生活習慣の乱れなど、現代の子どもたちが抱える課題に対応するため、自然体験活動をはじめとする様々な体験活動の重要性が強調されている。

◆経済的・時間的負担の課題：公的機関が行う自然体験活動への参加について、世帯年収が低い家庭では経済的または時間的な負担が参加を阻む要因となることが指摘されている。

“今”

表文化

24時間 大人の管理下

“今”

表文化

裏文化

ネット・ゲーム
サイバーサンマ
（時間・空間・仲間）

表文化

裏文化

AKB

サンマ（時間・空間・仲間）

リアルな世界での
非認知能力の育成

ネットの世界での
非理性・暴力性増長

表文化

裏文化

ネット・ゲーム

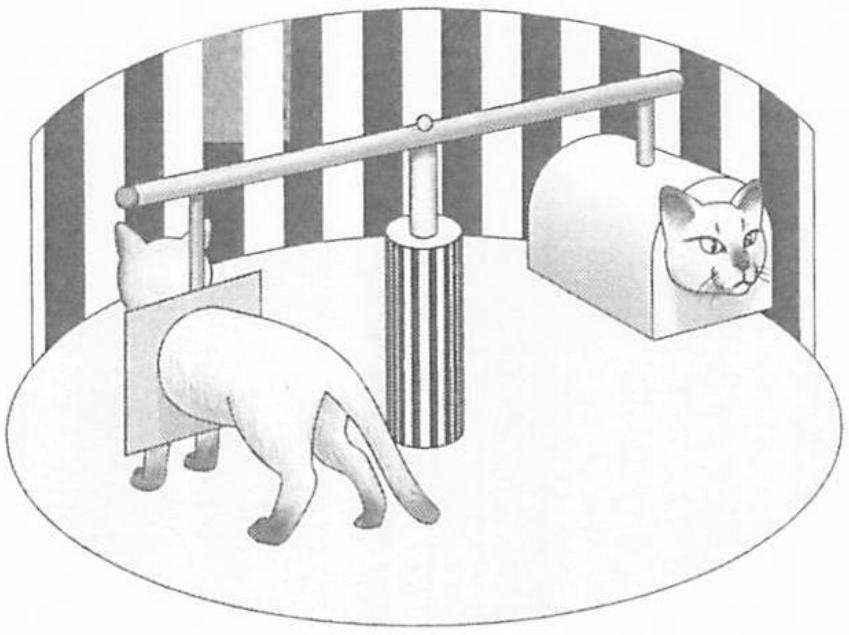
サイバーサンマ

（時間・空間・仲間）

3

現代のこどもを取り巻く環境

動くネコと動かないネコの実験



(Held＆Hein,1963より改変)
山口真美(2020)「こころと身体の心理学」岩波書店より

生まれたばかりの2匹のネコ

- 1匹は**自分で動く**
- もう1匹は運動を制限
  動かされて動く
- 同じ視覚経験

・自分で動き回ったネコ：**正常な視覚能力**

・動かなかったネコ：**近づくものに目をつぶることができない / 正しい位置に手を伸ばすことができない**

●自分の身体を動かしてみない限り、正常な発達ができない
●**感覚運動学習**：身体と視覚の連携（目と手、目と身体の協応）が重要

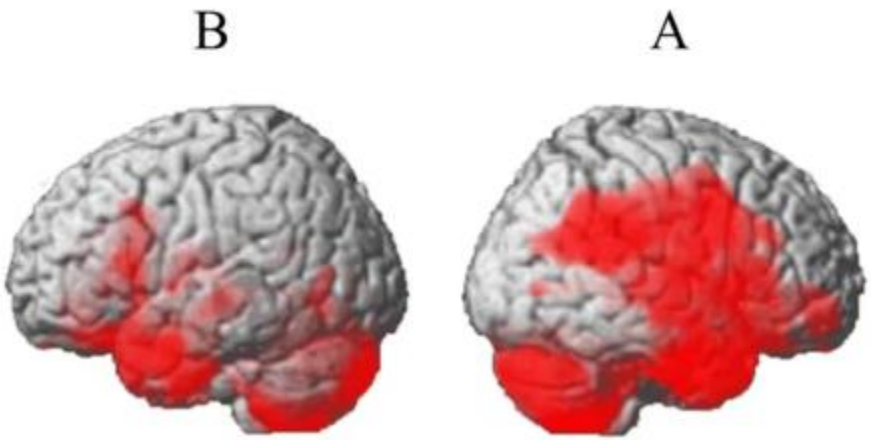
ルポ

スマホ育児が子どもを壊す

石井光太

新潮社

スマホが脳を「破壊」する!?



川島隆太(2019)「スマホが脳を『破壊』する」
集英社新書より

仙台市在住の5歳から18歳の児童・生徒224名の3年間の脳発達の様子をMRI装置で観察

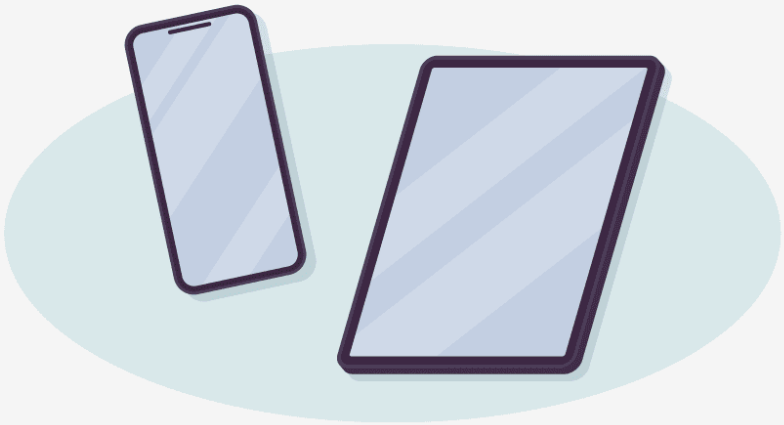
図A：脳の模型を右横からみたもの
前方（額側）が右側、後方が左側
図B：同じ脳の模型を左側からみた図
前方が左側、後方が右側に対応

・赤い色のついている領域は、インターネット習慣が多いことが原因で大脳灰白質体積の増加（発達）に遅れが認められた領域。
赤色が濃いほど遅れの傾向が強い。
・前頭葉、側頭葉、小脳など多くの領域に悪影響が出ている。

●スマホが破壊していたものは「学力」ではなく「脳」そのものであった可能性が高い。

2歳までのスクリーンタイムが

1日1時間を超えると



4歳くらいの

「コミュニケーション機能」が

0.2SD低下

タイトル：“Outdoor play as a mitigating factor in the association between screen time for young children and neurodevelopmental outcomes.” 著者名：Mika Sugiyama, Kenji J. Tsuchiya (共同筆頭著者), Yusuke Okubo, Mohammad Shafiur Rahman, Satoshi Uchiyama, Taeko Harada, Toshiki Iwabuchi, Akemi Okumura, Chikako Nakayasu, Yuko Amma, Haruka Suzuki, Nagahide Takahashi, Barbara Kinsella-Kammerer, Yoko Nomura, Hiroaki Itoh, and Tomoko Nishimura

※SDとは標準偏差を表す単位。IQ（知能指数）の場合、平均が100となり、1SD上がると＝115、1SD下がると85となる。-0.2SDだと100が97になるということ。

https://wellulu.com/family-growth/childcare-family-growth/5189/

「**自制心は人生の早い段階で現れ、将来性にも関わってくる**――と解釈できる。しかし報酬を先延ばしにできる力は生まれたときからあるわけではなく、生活環境の影響を受けるし訓練で伸ばすこともできる。それでは、デジタルライフは自制心にどのような影響を及ぼすのだろうか。複数の調査でわかっているのは、**よくスマホを使う人の方が衝動的になりやすく、報酬を先延ばしにするのが下手**だということだ」

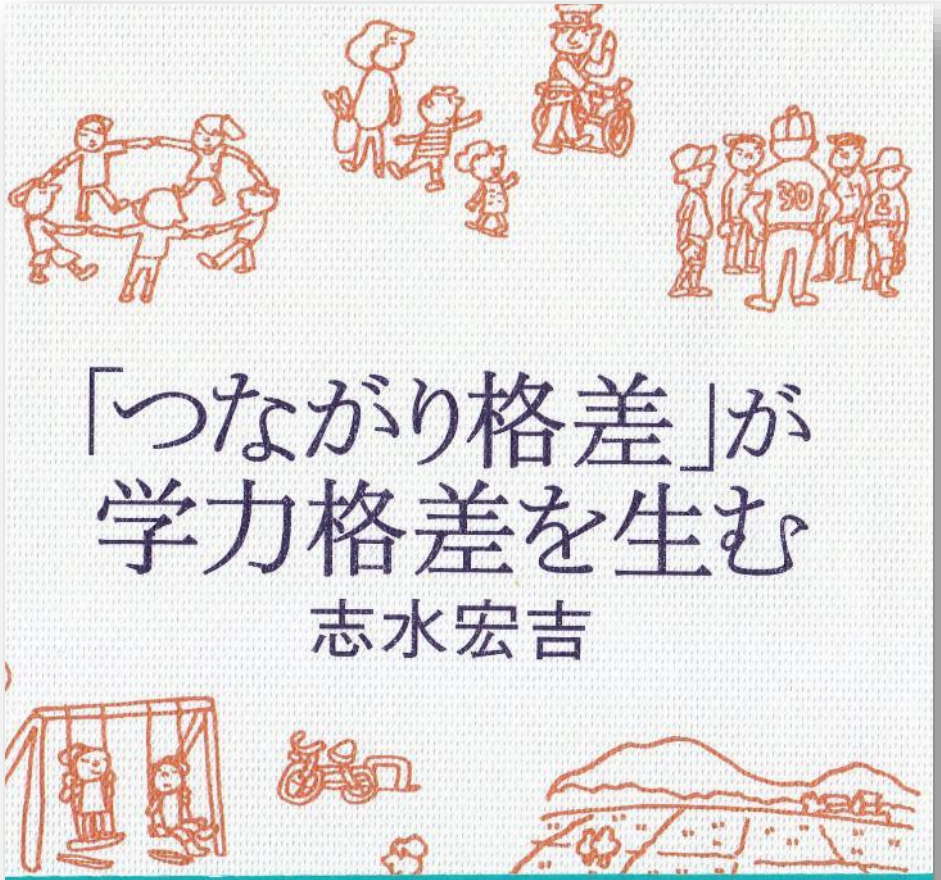
自分で考えるAIが、あらゆるものに組み込まれる

MOOBOT株式会社：https://moobot.co.jp/?srsltid=AfmBOoq5p07B-j4oPNNQRU06w9KcjpPgK5JNFnuWTmy-IcMfrrVwYXs3

これまで経験してきたことのないほどの
社会や生活の**激変**！

4

こどもが育つ街づくり



「つながり格差」が学力格差を生む

志水宏吉

なぜ秋田・福井が全国学力テストのトップクラスになったのか？

子どもを取り巻く環境こそが学力に強く影響する——
離婚が少ない。持ち家がある。不登校にならない。
学力格差は貧富の格差ではなく、
家庭、地域、学校での、子どもたちの「つながり」格差だった！

こどもまんなか社会の創造

こどもファースト ⇒ こどもセンタード

こどもの育ち

親
学校
地域
SC
SSW
“こども縁”の創造
教委
企業
NPO
施設

手間暇かけて、
みんなで町の文化Cultureを
つくっていく

今は…

- **規制やルールばかり**で、こどもが好きな時に外で自由に遊び、例えば秘密基地をつくるなんてことは不可能になっている
- スマホやゲームなどとの関係が密になり、コロナ禍も経て**対人関係が苦手**ってこども・若者が増えた
- 虫や魚など**生き物に触れるのも苦手**ってこども・若者も多い
- **24時間大人の監視・管理下、自由なのはネットの中**…三間サンマの喪失とサイバーサンマの出現
- AI社会となって便利だけど**手作りが激減・苦手に**。

それって本当に私たちが願う未来？
生きる喜びや幸せってそこにあるの？

下農は作物を枯らす
中農は作物をつくる
上農は土をつくる
肥よくで豊かな土壌をどう作っていくか？

子どもの権利条約　1994年批准
こども基本法　2023年施行
こども家庭庁　2023年開庁

保護⇒主体

こどもの声を聴く

こどもが考える
こどもが決める

保護⇒主体

こどもの声を聴く

国連子どもの権利委員会
「一般的意見26号（General Comment No. 26）」（2023年7月）

＊**気候変動や環境破壊、環境汚染**がこどもたちの権利に与える影響に焦点を当て、各国がこどもの権利を保護するために何をすべきかを示す法的指針

- 清潔で健康的かつ持続可能な環境に対するこどもの権利の明確化
- 環境に関する意思決定におけるこどもの参加と発言権の重要性の強調
- 気候変動がもたらす影響が、過去の世代の行動によるものであり、世代間の不平等の問題であることを指摘

➡各国に対して、気候変動対策においてこどもの権利を最優先し、意思決定プロセスにこどもを巻き込むよう求めている。

ワイガヤ
ブレイクアウトセッション

- 2017年5月20日（土）～21日（日）
- 今年のテーマは“sottosopra”（さかさま）。昨年は“storie in cammino”（途中の物語）。
- 市内の博物館、図書館、広場、路上をはじめ建物の中庭やちょっとした軒下のようなスペースなど様々な場所が舞台となり、多様なパフォーマンスが繰り広げられていた。
- 全市を挙げて取り組まれているイベント。子供を中心に据え、大人も参加・参画・協働している。

子ども教育立国主催　2017年9月10日（日）
「市民共同で子どもを支える　地域、市民で創る聴き語りイベント　レッジョ・ナラから日本の共育ちを考える」

Strada

街

Piazza広場

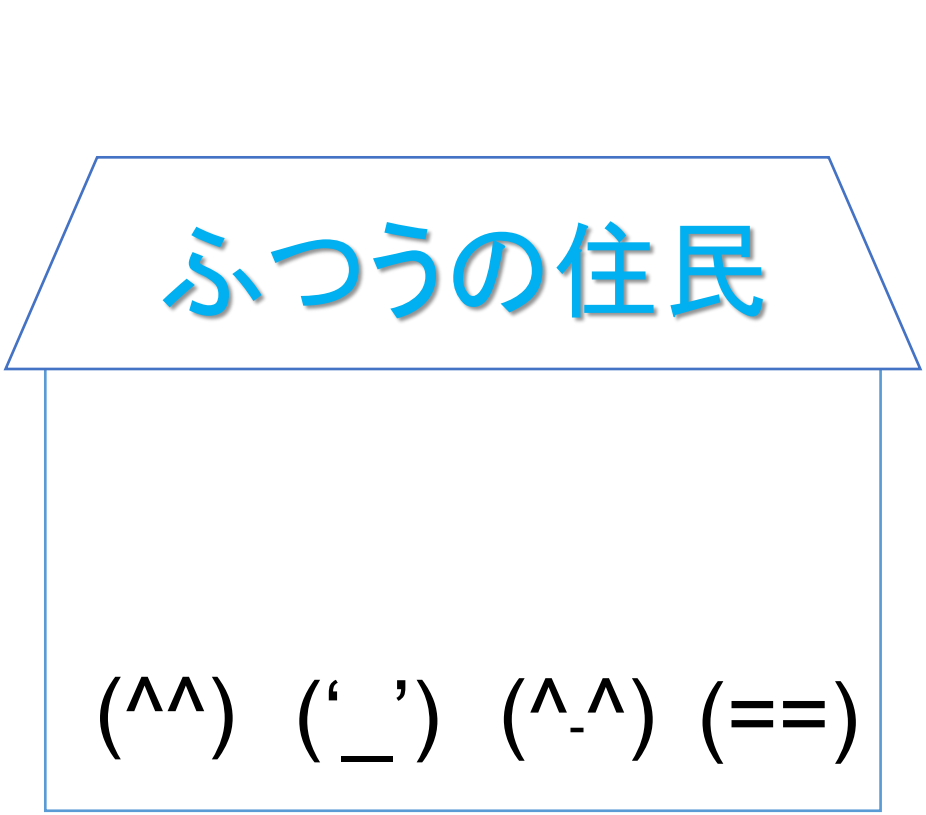
一次案内
クス大
文化祭
こども・ART・愛
「おとなはみんな、
はじめは子供だった」
2019 年 2 月 24 日（日）
10:00～15:00
会場：ひと・ほんの庭 にこっと
（旧 豊田図書館／磐田市上新屋 304）
入場料・参加費 無料

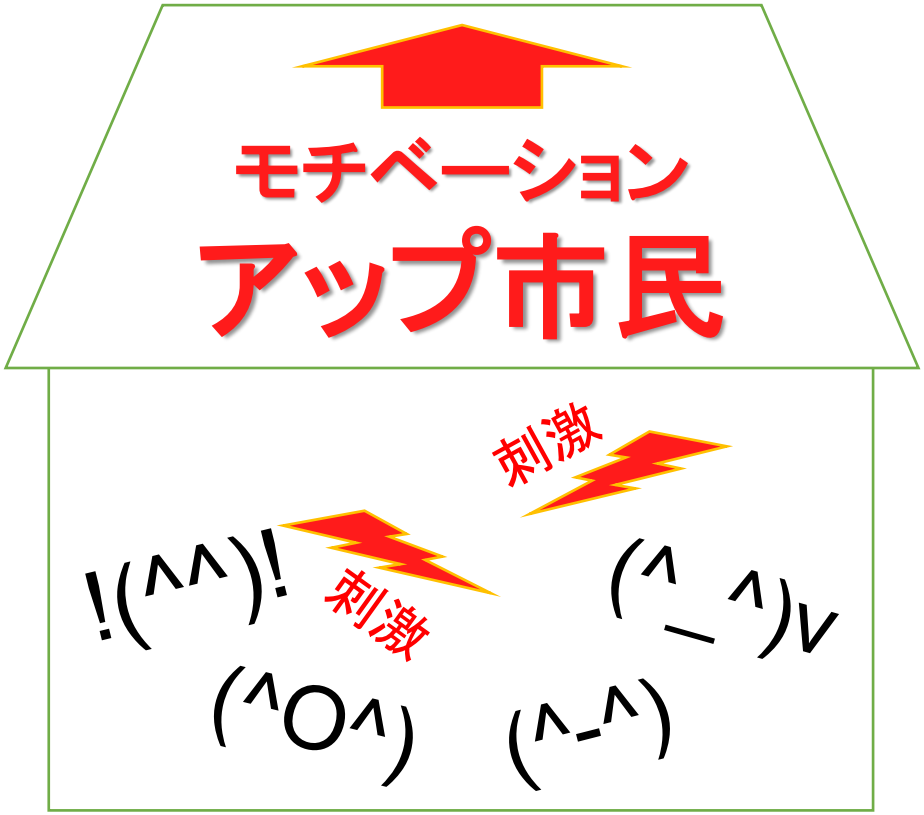
磐田クスノキ大学
文化祭 2nd
磐田 NARRA
— こども・ART・愛 —
ダキシメルオモイ
2020. 2/22 (SAT) 10:00～15:00
@豊岡中央交流センター 磐田市豊岡 76-5 TEL：0539-62-9130
入場無料
雨天決行
「ダキシメルオモイ」展、磐田初開催！
磐田 NARRA

磐田一中♪♪
街コン
企画：磐田クスノキ大学
磐田第一中学校学校運営協議会
２０１９年6月4日(火)
１６：２５～１７：２５
場所：磐田第一中学校 東館２階
演目 1「糸」作詞：作曲 中島みゆき
2「故郷」作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
3「Ombra mai fu」ゲオルグ・フリードリッヒ・ヘンデル作曲：オペラ「セルセ」より「樹木の陰で」
4「Die Forelle」フランツ・シューベルト作曲「鱒」

磐田クスノキ大学文化祭
磐田NARRA こども・ART・愛
ココロのヒカリを灯して
牛乳パック
ランタン作り
子育てコミュニティぐっついた！
えほんのトビラ★あそびの森
2020/12/20
10：00-12：00
完成したら
ヒカリを灯して、
絵本の世界へ!!
会場参加 ：限定３組 ３００円
大乗院三保坊 磐田市中泉一丁目10-6
ZOOMから無料で参加もできます。
申込先はこちら
くっついた公式LINE
https://lin.ee/mJNGRv2@342dxpvm

こども縁による街づくりに“参加・参画・協働”して化学反応促進を！





ワイワイガヤガヤ話し合ってみましょう！

ブレイクアウトセッション

こどもが育つ街づくりの課題は何で、そのために何を望むか？何をやりたいか？

★お互いを尊重する（Respect）

★お互いを信頼する（Trust）

★失敗やおかしな意見に対して健全な態度を取る（Helthy attitude about failure）

★相手を非難しない（Avoiding Blame）

聖隷国際教育学会 第3回年次大会 記念講演会

学びのアップデート、やらまいか！

・TBS日曜劇場「御上先生」監修
・メディア出演多数！

講師 **工藤勇一氏**

2025年 8月 9日(土)

講演テーマ

社会の変化とこれからの学校教育 ～主体性と当事者性～

【講演内容】科学技術の進展や急激な人口減少という社会の変化に伴い、教育の目的の本質が真に問われる時代がやってきている。これまでの日本の教育がなぜ上手くいかないのかという理由とそれを改善するための方策について明らかにしていきたい。（→昨年度の内容・130文字程度）

会場：プレスタワー17階 静岡新聞ホール

時間：13:30～15:30（受付開始：13:00）

参加費：学会員無料／非会員￥1,000（割引有）

大会詳細は裏面をご覧ください＞＞

聖隷国際教育学会 第3回年次大会

学びのアップデート、やらまいか！

●スケジュール／会場

2025年８月９日(土)

【午前の部】会場：はまこら
受付開始 9:30
開会 10:00~
分科会（研究発表／実践報告）
総会／交流会

【午後の部】会場：プレスタワー
講演会受付開始 13:00
工藤勇一氏講演 13:30~
交流会
閉会 16:00

●**参加費**
会員：無料
本学学生：無料
卒業生：500円
非会員：1,000円
まとめ割：(2人)800円／1人
(3人以上)500円／1人

●**お支払い**
クレジットカード
銀行口座振込
コンビニ振込

●**弁当（事前申込み）**
1,000円（当日支払い）

●**参加お申込み**
分科会のみ・講演会のみの参加も大歓迎です。

●**エントリー受付中**
研究発表・実践報告を募集中です。

●**新規会員募集中**
学会ホームページをご覧ください。

●**お問い合わせ　学会事務局**
kokusai-gakkai@seirei.ac.jp

後援：静岡県教育委員会、浜松市教育委員会（五十音順）

こども縁による街づくり！

ご清聴ありがとうございました。

聖隷クリストファー大学国際教育学部
鈴木 光男